



特集

# 未来の平戸のために

## あなたの1票を

平戸市長選挙・平戸市議会議員一般選挙が、10月17日(日)に投開票日を迎えます。あなたの想いを込めた1票を投じましょう。

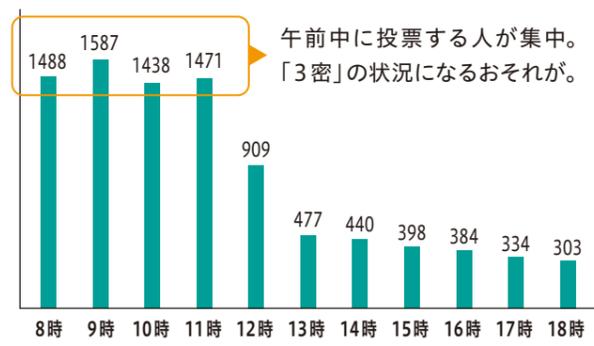
問 選挙管理委員会事務局 ☎ 22・9171

### 10月17日(日)は投票所へ

10月17日(日)、任期満了に伴う平戸市長選挙・平戸市議会議員一般選挙が執行されます。また、今年度は、衆議院議員総選挙、長崎県知事選挙なども予定されています。

私たちは、家族や地域、学校や職場など、さまざまな場で暮らしています。選挙は、そんな私たちの生活や社会をより良くするために、私たちの意見を反映させてくれる代表者を決める重要な制度です。投票所で自分の想いを託した1票を投じま

平成29年度衆議院議員総選挙・平戸市議会議員一般選挙における時間帯別投票者数推移(図1)



午前中に投票する人が集中。「3密」状況になるおそれがある。

平戸城から望む平戸市街地

### 投票所での感染対策

- ソーシャルディスタンスの確保  
人と人との間隔を一定に保つための印をつけますので、それに沿って整列をお願いします。
- 定期的な消毒  
筆記用具、記載台などの定期的な消毒を行います。
- ビニール手袋を常備  
アルコールアレルギーなど、消毒ができない人のため、ビニール手袋を準備します。

### コロナ禍でも投票へ

- 投票は有権者の皆さんに与えられた権利です。コロナ禍でも自分の考えを示すために投票へ行きましょう。
- 令和3年度に予定されている選挙
    - ▼平戸市長選挙・平戸市議会議員一般選挙(10月17日投開票)
    - ▼第49回衆議院議員総選挙および第25回最高裁判所裁判官国民審査
    - ▼長崎県知事選挙(令和4年2月ごろ)

### 投票所でのコロナ対策を実施

収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症。ワクチンの接種も始まっていますが、都市部を中心にまだ猛威をふるっています。このような状況を受けて、市では投票所での感染対策を実施します。

平成29年10月22日に執行された、衆議院議員総選挙・平戸市議会議員一般選挙では、投票日当日は午前中に投票した人が多くなっています(図1)。また、期日前投票では投票開始の午前8時30分から午後5時までの間に投票する人が多く、夕方以降は比較的少ない傾向にあります。

会場によっては、多くの人が1度に会場に入ることによって、「密集」「密接」「密閉」の「3密」状況になるおそれがあります。そのため、今回の選挙では入場者が多い時間帯には入場制限を行うなど、「3密」の状況になるのを防ぐ対策を行います。

### 有権者の皆さんの感染対策

- マスクの着用・手指消毒  
投票所でのマスクの着用・消毒液での手指消毒にご協力ください。
- 密を避けて投票  
できるだけ混み合う時間帯を避けて投票しましょう。
- 待ち時間への理解を  
「3密」を避けるため、入場制限をかける場合があります。待ち時間へのご理解をお願いします。

### 体調不良の人への対応

- 発熱の人への対応  
念のため、他の有権者の出入りを一時ストップします。投票終了後、十分な消毒・換気を行ってから入場制限を解除します。安心してご来場ください。  
※選挙権は、有権者に与えられた平等な権利のため、いかなる場合も入場や投票を拒むことはありません。特定患者などについては、特例郵便等投票ができます。

また、投票する有権者の皆さんも、できる限り混雑する午前中の時間帯を避けるなど、スムーズかつ安心して投票が行える環境づくりにご協力をお願いします。

### 平戸市選挙管理委員会、『Facebook』始めました

平戸市選挙管理委員会では、Facebookページを開設しました。選挙に関するさまざまな情報を随時、発信していきますので、右のQRコードからぜひフォローをお願いします。

- アカウント名  
平戸市選挙管理委員会 (@senkanhirado)  
※投稿に対するコメントなどへの返信は行っておりませんのでご了承ください。

フォローはこちらから▼



# 高校生たちの本音

平成28年6月、公職選挙法の選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。選挙権を得る高校3年生の皆さんに、選挙についての本音をインタビューしました。

## 若者が選挙に行かないのはなぜ？

令和元年7月21日に執行された第25回参議院議員通常選挙においても、他の選挙と同様に投票率の低下、特に若年層での投票率の低さが顕著でした。

この選挙における若年層への意識調査では、「選挙に行かない理由」として下記のような回答が多くを占めました。

### 第25回参議院議員通常選挙における若年層の意識調査(18歳の回答を抜粋)

- どの政党や候補者に投票すべきかわからなかったから(26.4%)
- 面倒だったから(25.6%)
- 選挙にあまり関心がなかったから(22.5%)
- 今住んでいる市区町村で、投票することができなかったから(20.2%)

## 「若者が選挙を身近に感じる環境づくりを」

友達と選挙の話題になることはあまりありません。やはり、選挙と聞くと、内容が難しい、身近に感じにくい、面倒くさいと思う人が多いからかもしれません。

若者の投票率が低いことに関しても、そもそも政治家の話聞くこと自体に関心が無い人もいますので、まずは私たちが政治家の声を聞く機会を増やしていくことが必要なのかなと思います。

選挙について率直に思うことは、例えば、市でオリジナルの条例を作って、「権利」ではなく「義務」的なものにするとか、選挙に行くことが楽しみになるような環境を作るとよいと思います。また、有名なタレントなどが発信すれば、若者も選挙を身近に感じるのではないかなと思います。

いずれ自分が選挙権を得られたら、「選挙と一緒に行動しよう」と友達を誘いたいです。

## 「若者の声を政治の場に」

家族や友達と選挙の話題になると、「この人はどんな政治がしたいんだろう」「保育の仕事のお給料を上げるには、若い人の投票率が上がらないと難しいよね」と、そういう話をします。

私自身は、選挙権が得られたら投票に行こうと思います。が、投票所での投票の仕方や、投票所でどういうふうに参加したいのかという不安があります。同世代の人たちにも同じ

ような悩みがあると思います。現在、若い人たちの投票率が低いことが問題になっていますが、このままでは若者の声が政治に反映されにくいのではないかなと思います。

若者の投票率を上げるためには、「もう少し選挙なんだ」とか「誰がどういうことをしたいのか」ということを、わかりやすく国や市が、インターネットなどで発信してくれたらいいのではないのでしょうか。

## 「投票に行きやすい雰囲気づくりが必要」

友だちと選挙の話をするとは少ないです。政党や政治家の考え方が分からない人が多いからではないかなと思います。投票に行く時には、そういったことをきちんと知ってから行った方がいいと思うので、少し難しさを感じます。

これからは、若者が政治を変えないといけないと思うので、そのためには私たちが投票に行くべきだと考えています。市役所の人をお願いしたいの

は、投票所ってどんなところか知らない人も多いし、静かなイメージがあるので、投票所に行きやすい、明るい雰囲気をつくったり、ネットや広報で政治家の情報などをお知らせしてくれると、行く人も増えるんじゃないかなと思います。

私は18歳になったら投票に行きたいです。その時は政治や選挙のことをしっかり勉強して、友達と行けたらいいなと思います。

## Interview



猶興館高等学校  
3年 久岡 涼香 さん

## Interview



平戸高等学校  
3年 里崎 未来 さん

## Interview



北松農業高等学校  
3年 吉本 智咲 さん